

文化財を散策される皆さんへ
～見学のマナーと注意事項～

- 許可なく個人の敷地に入ることはおやめください。
- 団体で見学する場合は、事前に見学先に連絡をするようにしてください。
- 文化財の所有者や近隣の迷惑になる行為(汚損、喫煙、大声での会話等)は慎んでください。
- 掲載している文化財は、公開されていない文化財(個人所有の文化財等)も含んでいるため、ご覧にならないものもあります。

萩窪三庭園めぐり

萩外荘公園 (萩窪二丁目43番36号)

萩外荘は、大正天皇の侍医頭を務めた医学者・入澤達吉の別邸(「萩外荘」)として、入澤の義弟であった建築家・伊東忠太の設計により、昭和2(1927)年に建てられました。萩外荘は、当時の流行と伊東の建築思想が反映されており、部屋ごとに異なる内装など、各所に伊東らしい意匠を見ることができま。昭和12(1937)年、同邸宅は内閣総理大臣を務めていた近衛文麿に譲渡され、元老の御曹司公邸により萩外荘と命名されました。「萩外荘」は、「萩窪会談」をはじめとする、昭和戦前期の政治の転換期となる重要な政治会談が行われた場所として、平成28(2016)年に、「萩外荘(近衛文麿旧宅)」として国の史跡に指定されました。

令和6(2024)年10月、萩外荘の史跡整備が完了し、同年12月より建物と庭園を公開しています。



▲萩外荘外観



▲萩外荘内観

大田黒公園 (萩窪三丁目33番12号)

日本で初めて音楽評論という分野を確立した大田黒雄の屋敷跡を、回遊式庭園として整備した公園です。園内には樹齢100年を超えるイチヨウ並木やケヤキ、モミジなどが林立しています。

園内のレンガ色の洋館は、昭和8(1933)年に大田黒の仕事部屋として建てられた、当時としては珍しい西洋風の建物で、設計者は銀座資生堂パーラーなどの設計で知られる前田健二と伝われます。現在は記念館として公開されており、館内には大田黒氏で使用していたスタインウェイ社製のグランドピアノを展示しています。同邸宅は平成28(2016)年11月に「旧大田黒家住宅洋館」として、国の有形文化財(建造物)に登録されました。

園内では、紅葉の時期のライトアップやお月見をはじめ、四季折々のイベントを開催しています。(※ライトアップ期間中は入場料がかかります)



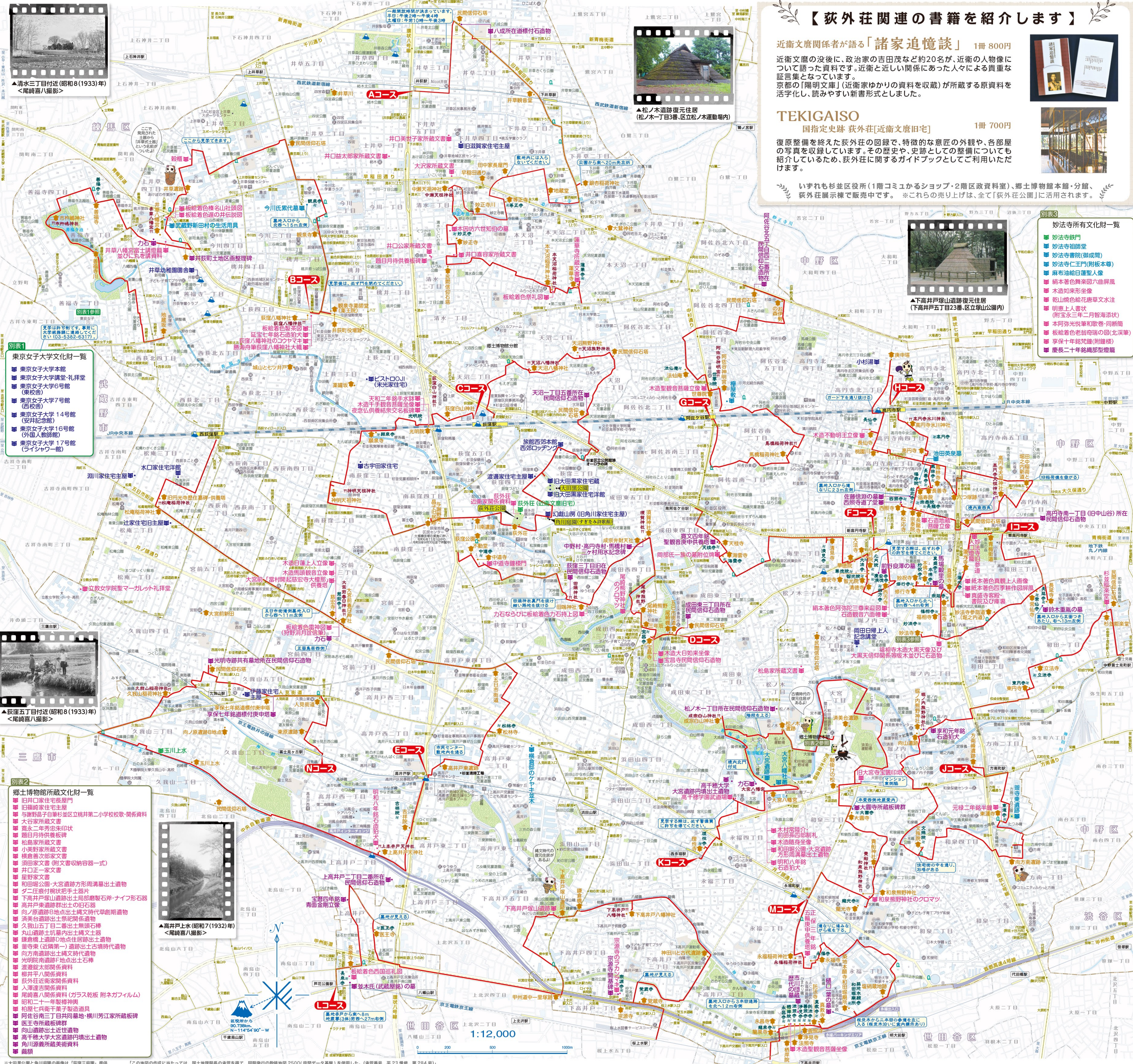
▲旧大田黒家住宅洋館外観



▲大田黒公園のイチヨウ並木

三庭園インフォメーション

開園時間: 9:00 ~ 17:00
休園日: 水曜日、年末年始
※いずれの施設にも駐車場はありません。



- 別表1
東京女子大学文化財一覧
- 東京女子大学本館
 - 東京女子大学講堂・礼拝堂
 - 東京女子大学6号館(東校舎)
 - 東京女子大学7号館(西校舎)
 - 東京女子大学14号館(安井記念館)
 - 東京女子大学16号館(外国教師館)
 - 東京女子大学17号館(ライシャワー館)

- 別表2
郷土博物館所蔵文化財一覧
- 旧井口家住宅後院門
 - 旧藤崎家住宅主屋
 - 与謝野子と島田村立井第二小学校校舎・関係資料
 - 大谷家所蔵文書
 - 寛永二年秀忠朱印状
 - 題目月侍供養碑
 - 松島家所蔵文書
 - 小栗家所蔵文書
 - 松島家所蔵家系図
 - 須田家文書(明文書収納器一式)
 - 井口正一家文書
 - 星野家文書
 - 和田公園・大宮道跡方形周溝遺出土遺物
 - タニ庄遺付硯状把手土器片
 - 下高井戸原山遺跡出土周代製石斧・ナイフ石器
 - 高井戸東遺跡群出土の石器
 - 向ノ原遺跡B地点出土縄文時代早期遺物
 - 清美台遺跡出土土器製遺物
 - 久我山五丁目二番出土土器製石
 - 丸山遺跡土坑墓内出土縄文土器
 - 鎌倉橋・土道跡の地点住居跡出土遺物
 - 茶寺集(近衛第一)遺跡出土古墳時代遺物
 - 向方南遺跡出土縄文時代遺物
 - 光明院南遺跡の地点出土土器
 - 渡邊館太郎関係資料
 - 柳井平八関係資料
 - 萩外荘近衛文麿邸出土遺物
 - 人海遺書関係資料
 - 尾崎喜八関係資料(カラス乾杯 附ネガフィルム)
 - 昭和二十年製神輿
 - 松屋七兵衛千菓子製造用具
 - 阿佐谷南三丁目共同墓地・横川芳江家所蔵被褥
 - 松井寺所蔵被褥
 - 向山遺跡出土土器製遺物
 - 高千穂大学大宮遺跡群出土遺物
 - 角川源義所蔵美術資料
 - 鏡類

凡例

区界、市界、町界、村界、道路、河川、公園、緑地、バス路線、停留所、史跡、散歩コース

【萩外荘関連の書籍を紹介します】

近衛文麿関係者が語る「諸家追憶談」 1冊 800円

近衛文麿の没後に、政治家の吉田茂など約20名が、近衛の人物像について語った資料です。近衛と近い関係にあった人々による貴重な証言集となっています。

京都市の「陽明文庫」(近衛家ゆかりの資料を収蔵)が所蔵する原資料を字活し、読みやすい新書形式としました。

TEKIGAIISO 国指定史跡 萩外荘(近衛文麿旧宅) 1冊 700円

復原整備を終えた萩外荘の図録で、特徴的な意匠の外観や、各部屋の写真を収録しています。その歴史や、史跡としての整備についても紹介しているため、萩外荘に関するガイドブックとしてご利用いただけます。

いずれも杉並区役所(1階コミュニティ・2階区政資料室)、郷土博物館本館・分館、萩外荘展示棟で販売中です。 ※これらの売り上げは、全て萩外荘公園に活用されます。

萩窪三庭園めぐり

角川庭園 (萩窪三丁目14番22号)

角川庭園は、角川書店の創業者で俳人でもあった角川源義の邸宅を整備した公園です。庭には水琴窟があり、また、俳句を詠むための草花が植えられ、四季折々の風景を楽しめます。

園内の邸宅は、角川源義の住居として昭和30(1955)年に建てられた。近代奇麗な建築の邸宅です。設計者は建築家で、俳人としても知られる加倉井昭夫(俳号:加倉井秋)で、同邸宅は加倉井の近代日本建築に対する考えを具体化した代表的な作品です。平成21(2009)年1月には、「幻巖山房(旧角川家住宅主屋)」として、国の有形文化財(建造物)に登録されており、現在は展示室、詩歌室、茶室として利用・公開しています。

また、館に残されていた美術品の一部は、杉並区郷土博物館で保管され、杉並区の登録有形文化財となっています。(非公開)



▲幻巖山房(旧角川家住宅主屋)外観



▲幻巖山房展示室

杉並の歴史探訪!

年間を通して杉並の歴史・文化を学べる郷土博物館本館

敷地内には、江戸時代後期の商家の特徴がみられる古民家もあります。



【開館時間】午前9時から午後5時

【休館日】毎週月曜日

●毎月第3木曜日(祝日と重なった場合は開館、翌日休館)

●12月28日から1月4日

郷土博物館分館



【住所】〒168-0061 大宮一丁目20番8号

【電話番号】03-3317-0841

【観覧料】100円(20名以上の団体はひとり80円) ※中学生以下は無料

【観覧料】無料